

# 石川県七尾美術館だより

平成14年7月6日発行  
編集・発行 石川県七尾美術館

## 第30号(夏号)



### 「長谷川等伯展

—妙蓮寺の長谷川派と若き日の等伯—より

### 牧馬図屏風 6曲1双(内 右隻部分)

長谷川信春(等伯) 天文8~慶長15(1539~1610)

室町末~桃山初期

各 縦158.6 横343.6

東京国立博物館 蔵

ISHIKAWA  
NANAO  
ART MUSEUM



# 展覧会紹介

平成十四年七月六日(土)

九月二十三日(月・祝)

休館日については裏表紙をご覧ください

## 「長谷川等伯展

― 妙蓮寺の長谷川派と若き日の等伯 ―

八月二十四日(土)～九月二十三日(月・祝)

〔会期中無休〕

### 第一・第二展示室

能登七尾出身で、桃山時代に活躍した画聖・長谷川等伯のシリーズ展も、今回で七回目となりました。

昨年は、スイスのチューリッヒにあるリートベルグ美術館において大々的な「長谷川等伯展」が開催されるなど、等伯への注目度は益々高くなり、出身地にある美術館としても等伯の優れた文化財をより多くの人々に知っていただける様、展覧会を通してテーマを変えながら紹介していきたいと考えております。

さて、その「等伯展」についてですが、国施設または県施設規模になると、大掛かりな、それぞれチューリッヒでの「長谷川等伯展」のような特別展、或いはそれ以上の展覧会開催が可能です。う。ただ、その場合には初期から最晩年の作品が

重文。伝名和長年像。長谷川信春(等伯)筆。東京国立博物館蔵

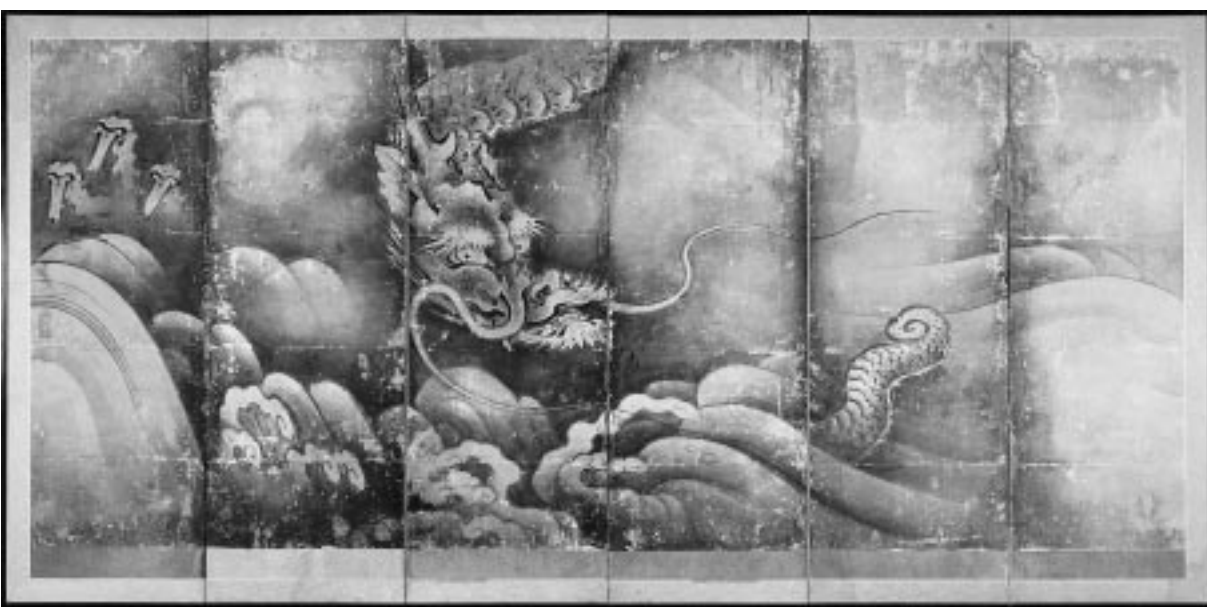


一堂に展示される形が多く、その一回きりということになるでしょう。一方、当館のような小規模館の場合は展示壁面の長さ(壁面の長さというより、厳密には展示ケースの長さ)が短く、出品作品数が限られてきます。ですから、当館では毎回少しずつテーマを変えて紹介してまいりました。しかし、実際にはこの事が、当館にとって貴重な長期展覧会構成を実現することになったのです。平成八年度から十二年度までは、毎年等伯の作品を中心に紹介してきました。しかし、十三年度はリートベルグ美術館での展覧会が予定された事もあり、兼ねてより予定していた等伯の息子たちを中心とした「長谷川派の絵師たち」を開催しました。

等伯を語る時、長谷川派全体の存在がクロースアップされてきます。つまり、等伯は晩年長谷川派の長として一派を率い、大寺院の障屏画などを手掛けており、長谷川派全体を知ることが、等伯を知ることにもなるのです。そういった事で、当館では等伯作品だけにとどまらず、広く長谷川派全体を紹介していくと共に、今後の展開としてはライバルと言われる狩野派の作品との比較なども行っていききたいと思っております。

さて、本年は前述の内容を踏まえて、長谷川派制作による襖絵と、等伯の息子・宗宅と左近の屏風、そして、今年の干支にちなんで、馬が描かれた等伯若年期の作品などを展示いたします。

また、今回はより等伯を知っていただくために、第三展示室の一部に等伯及び長谷川派についてのパネルを展示する他、等伯関連図書コーナーも設けますので、等伯のオリジナルハイビジョンコーナーと併せてご利用ください。

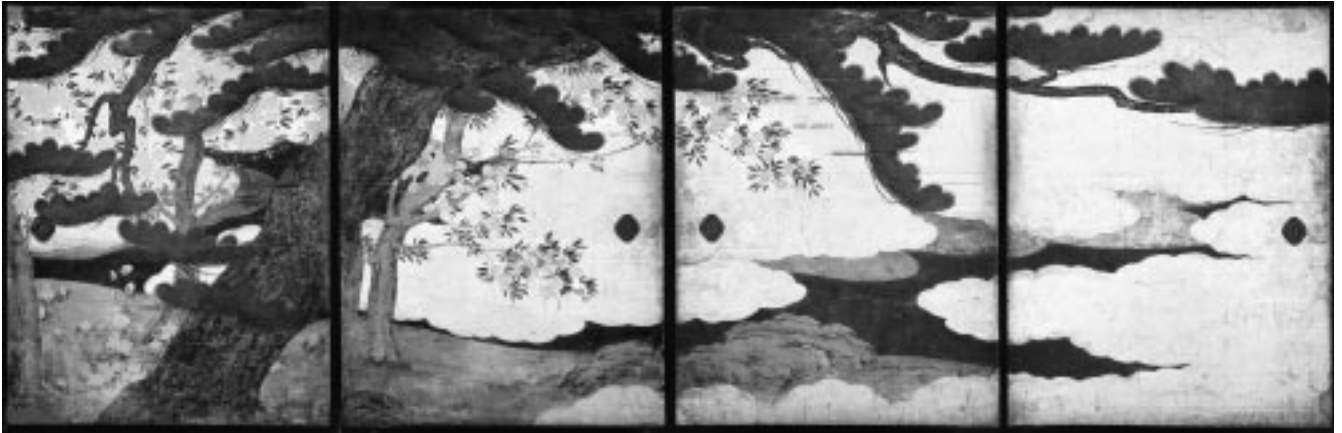


『波龍図屏風』六曲一双(内 左隻)  
長谷川左近(等重)筆  
高野山・金剛三昧院蔵

出品予定作品（＝重文 〓県文）

- 『愛宕権現図』 長谷川信春（等伯）筆  
絹本着色 一幅 石川県七尾美術館
- 『達磨図』 長谷川信春（等伯）筆  
紙本墨画 一幅 石川・龍門寺
- 『海棠に雀図』 長谷川信春（等伯）筆  
紙本着色 一幅 島根・安来家
- 『十六羅漢図』 長谷川信春（等伯）筆  
紙本墨画淡彩 三幅（八幅内） 石川・靈泉寺
- 『伝名和長年像』 長谷川信春（等伯）筆  
絹本着色 一幅 東京国立博物館
- 『牧馬図屏風』 長谷川信春（等伯）筆  
紙本着色 六曲二雙（六曲双） 東京国立博物館
- 『波籠図屏風』 長谷川左近（等重）筆  
紙本墨画金泥引 六曲二双 高野山・金剛三昧院
- 『吉野桜図屏風』 長谷川宗宅（等後）筆  
紙本金地著色 六曲二双 京都・妙蓮寺
- 『桜・鉾杉図』 長谷川派筆  
紙本金地著色 四面 京都・妙蓮寺
- 『松・桜図』 長谷川派筆  
紙本金地著色 四面 京都・妙蓮寺

本展会期中の九月十五日（日・祝）、京都国立博物館 京都文化資料研究センターのセンター長・狩野博幸氏による記念講演会を開催いたします。詳しくは、六ページをご覧ください。



重文『松・桜図』（旧奥書院二之間北側）長谷川派筆 京都・妙蓮寺 蔵

「秋の所蔵品展」

現代絵画を中心に

第三展示室

当館所蔵作品及び寄託作品から、石川県ゆかりの現代作家作品を中心に、日本画・洋画・工芸の各作品を紹介予定です。

《出品作家》

- 日本画 上田 珪章・加戸ひとみ・古澤 洋子  
府坂 綾子
- 洋画 勝本富士雄・白尾 勇次・高光 一也  
田辺栄次郎・寺井 重三・西房 浩二  
野中未知子・前田さなみ
- 工芸 浅蔵五十吉・徳田八十吉



「マジョリカ壺の薔薇」高光一也

共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	700円	350円	600円
			300円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。「秋の所蔵品展」と共通料金です。

第十七回海の祭典協賛

## 「夏の選抜展」

七月六日(土)～八月十八日(日)

### 第一展示室

「池田コレクションを中心に」

当館所蔵品のうち、七尾市名誉市民・故池田文夫氏収集の「池田コレクション」は、氏が活躍した岐阜県美濃地方や、出身地である石川県にゆかりのある茶道美術品を中心に工芸品、日本画などで構成されています。

本テーマではこの「池田コレクション」より、陶磁器を中心とした工芸品や軸装の日本画など、計二十九点を展示します。



「カブラ絵合鹿椀」江戸時代後期(19世紀)制作

### 第二展示室

「静と動の表現」

制作される数々の作品はその制作者の意図によって、ある時は空気の様に静寂の中に佇み、またある時はつねる波瀾の様に躍動感に満ちあふれる如くに様々な表情を見せて、鑑賞する者の心にそれぞれを想いを訴えかけます。

本テーマでは「静と動の表現」として、様々なモチーフや技法を駆使して表現される「静」と「動」の作品を絵画や彫刻などを中心に計二十八点を展示します。



「緋の舞」末政哲夫

### 観覧料

	一般	個人	団体
大高生	280円	220円	280円
一般	350円	280円	280円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。  
「モントレイ・ジャズ・フェスティバル・ポスター展」と共通料金です。

### 第三展示室

「モントレイ・ジャズ・フェスティバル  
ポスター展」

七月二十三日(火)～三十一日(水)

七尾市の姉妹都市であるモントレイ市(アメリカ合衆国・カリフォルニア州)は、同じくアメリカのニューポート、スイスのモントルと並び「世界三大ジャズフェスティバル」の開催地として知られています。

モントレイ市では毎年フェスティバル開催の際にポスターを制作しており、一九六三年から七尾市との友好の記念として和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合に寄贈されています。

当館では、七月二十七日(土)に和倉温泉で開催される「モントレイ・ジャズ・フェスティバル(MJF) in 能登」にあわせ、これまでのポスターを一室に展示・紹介します。

ジャズの世界を色鮮やかに、そして躍動的に描いた作品、約五十点をお楽しみください。



展示会風景

観覧料は「夏の選抜展」と共通料金です。

# 市民ギャラリー 展覧会案内

## 第七回七尾日創展

七月十一日(木)～十四日(日)

但し、初日は午後二時から

最終日は午後三時まで

公募による日本画を中心とした絵画約六十点を展示します。金銀箔を使った装飾美にあふれた作品、新しい感覚で表現された刺激的な作品、じっくりと描きこんだ癒し系の作品など、さまざまな日本画をご鑑賞ください。

入場料 無料

主催 日創会(代表 丹羽俊夫)

共催 北國新聞社

後援 石川県・石川県教育委員会・七尾市教育委員会・能登島町教育委員会・鹿島町教育委員会・NHK金沢放送局・北陸放送・テレビ金沢・ラジオななお

協賛

金城大学  
三宅厚史

☎〇七六七(七七) 一三六八



## 第十二回彩虹画展

八月二日(金)～四日(日)

但し、最終日は午後四時まで

能登で活躍する洋画四団体の合同展で、七尾市の彩の会・グループ虹・英の会と志賀町の画好会を合わせた会員約五十人が大作から小品まで五十～六十点の近作を展示発表します。

入場料 無料

主催 洋画グループ彩虹画会

後援 七尾市教育委員会・七尾市文化協会・北國新聞社・ラジオななお・七尾美術作家協会

連絡先

加地 求  
☎〇七六七(五二) 一六一三

## 第六十一回七尾港まつり協賛 第八回七尾美術作家協会展

七月十七日(水)～二十一日(日)

但し、最終日は午後四時三十分まで

七十二名の全会員の作品展示のほかに、韓国、金泉市写真作家協会会員五名の特別出品を予定しています。また、協会展後、作品を鳥屋町ふるさと創修館へ移動して、八～九月の二か月間、初の鳥屋展を開催します。ご高覧ください。

入場料 無料

主催 七尾美術作家協会

後援 七尾市教育委員会・七尾商工会議所・北國新聞社・ラジオななお・七尾市文化協会・テレビ金沢

連絡先

七尾美術作家協会事務局長  
木本香泉

☎〇七六七(五二) 四〇一一

## 第十七回風景の会絵画展

加賀百万石を描く

八月九日(金)～十五日(木)

東海三県下に在住の日本画家、洋画家、版画作家らが、自身の所属する絵画団体の枠を超えて結集した「風景の会」。その会員らが、石川県内の名所を取材して制作した作品を紹介します。

入場料 無料

主催 風景の会 北陸中日新聞

連絡先 風景の会事務局 長谷川 佑

☎〇五二(七八) 四八七一



## アートホール催し案内

### リトルピアニストコンサート Vol.8

七月七日(日)

開演 午後一時三十分

六才〜三十?才までの個性的なピアニストたちが、時には軽快に、時には穏やかにそして情熱的に奏でる、ドキドキ・ワクワク楽しさいっぱいのピアノ発表会です。出演者一同、頑張ります!

入場料 無料

主催 川部真紀門下生

連絡先 川部真紀

☎〇七六七(五七)一六四一

### 第七回ピアーチエコンサート

七月十四日(日)

開演 午後二時

ピアノとフルートの発表会です。「赤ずきん」のお話を、ピアノアンサンブルで演奏します。また、ゲストによる二重唱もあります。どうぞお楽しみ下さい。

入場料 無料

主催 松本佐智子・古川かおり門下生

後援 能登ピアノレスナー会

連絡先 松本佐智子

☎〇七六七(五二)二六六七

### 第五回佐藤有希子門下生ピアノ発表会

七月二十八日(日)

開演 午後一時三十分

日頃の練習の成果を、ピアノソロ・ピアノ連弾で披露する発表会です。今回は高学年の皆さんが「千と千尋の神隠し」より「いつも何度でも」をソプラノリコーダーでも演奏します。

入場料 無料

主催 佐藤有希子門下生

後援 カワイ楽器製作所㈱

連絡先 佐藤有希子

☎〇七六七(五四)〇九五五

### 第二十二回等伯まつり

八月二十三日(金) 開演 午後一時

・等伯顕彰セレモニー 午後一時〜二時  
・記念講演会 講師・演題は未定

午後二時〜三時を予定

入場料 無料

主催 等伯会

連絡先 七尾美術館内「等伯会」事務局

☎〇七六七(五三)一五〇〇

### 中條久美子・酒谷広重門下生ピアノ発表会

九月一日(日) 開演 午前十時

一年に一回開かれる発表会です。今回はヴァイオリン奏者をゲストに迎えるのミニミニコンサートもあります。

入場料 無料

主催 中條ピアノ教室・酒谷ピアノ教室

後援 カワイ楽器製作所㈱

株式会社開進堂楽器

連絡先 中條久美子

☎〇七六七(三三)一四二二

### 第二回プリランテ・クラシック・コンサート

九月七日(土)

開演 午後六時三十分

ピアノ・フルート・ヴァイオリンの他、新しくサククス・声楽が仲間入りしました。独奏やピアノ三重奏・アンサンブルのプログラムをお届けします。豊かな音色をどうぞお楽しみ下さい。

入場料 (大人)千円・(中学生以下)七百元

主催 プリランテ

後援 北國新聞社・ラジオななお・七尾パ

ソコン家庭教師SE

連絡先 干場一葉

☎〇七六七(七四)一三五二

### 当館主催の催し

映画上映会 「入場無料」

毎月第二・四土曜日 午後二時

・七月十三日、二十七日、八月十日

・「蒔絵 寺井直次のわざ」(三十分)

・八月二十四日、九月十四日

・「利休の茶」(五十分)

「長谷川等伯展」記念講演会

・九月十五日(日・祝)午後二時

・演題 「妙蓮寺の障壁画について」

講師 狩野博幸氏

(京都国立博物館 京都文化資料研究センター センター長)

場所 当館アートホール

聴講無料(観覧券が必要です)

京都・妙蓮寺の長谷川派による障壁画

を中心とした講演会です。

今年で三回目の『友の会鑑賞の旅』、今回は三十六名の参加者を得て、去る六月十六日(日)に加賀方面の施設を見学してきました。

はじめに今年四月に新しく開館したばかりの「石川県九谷焼美術館」へ。まずはホールで同館副館長が施設の概要についてお話をして下さいました。企画展では現代九谷の大胆かつ新鮮な作品にふれ、次に、その様式別に古九谷が展示されている常設展を見学。両展示とも

それぞれ専門の学芸員の方が丁寧に解説して下さい、皆さんの作品を観る眼差しにも、より一層、力が入っているように見えました。



参加者の皆様(石川県九谷焼美術館にて)

「つるし蔵」で『金こまうどん定食』なる縁起の良い昼食をとり、その後は同敷地内にある美術館見学などの自由時間。彫刻と記念撮影する方、喫茶店でくつろぐ方、思い思いに時間を過ごされていたようです。予定時間ぴったり(さすが！七尾美術館友の会の皆さん)出発し、金沢は卯辰山の

「花菖蒲園」へ。花は七、八分咲きといったころでしたが、緑鮮やかな木々を抜けて吹いてくる風が心地良かったですね。

帰りのバスの中で感想をお聞きしてみたところ、「やはり九谷焼美術館が良かったわ」。細かく描かれた絵柄には本当に感心した。もうしばらくあのおすばらしい作品を観ての余韻に浸っていたかった。とお言葉をいただきました。参加者皆様の協力のもと、楽しい旅となりました。本当にありがとうございました。

## ワークショップ報告

「オリジナルカードを作るうよよ！」  
四月二十六日(金)から六月二日(日)まで三十八日間にわたって開催された「20世紀巨匠の5大連作版画展」も大好評のうち閉幕しました。

ピカソ・ルオー・シャガール・ミロ・デューファイといった二十世紀を代表する芸術家五人の連作版画を一堂に展覧し、その関連事業として「オリジナルカードを作るうよよ！」と題したワークショップを開催いたしました。ハガキサイズの色画用紙に色チヤコペーパーやカーボン紙を組み合わせて自由にイラストを描くだけなのですが、多色刷りの版画の様な楽しい作品が出来上がります。

親子連れや学校が終わってから友達同士で足を運んでくれた小学生もあり、来館の記念や転校した友だちへのメッセージ、来年の年賀状にいたるまでバラエティに富んだ作品が生み出され、色とりどりのカードが壁を飾りました。

当美術館は、「観る」楽しさだけでなく「創る」楽しさをも提供できる場でありたいと思っております。

皆さんも美術館で創作意欲を満たしませんか。  
次回ワークショップ情報は下記のご案内をご覧ください。



## 夏の子どもワークショップ

「子どもアーティスト誕生II」

木彫・木工作品を制作します。

日時 七月二十三日(火)～二十八日(日)

【六日間】

会場 各日午前九時から十一時三十分

石川県七尾美術館

芸術とやすらぎの広場(屋外)

指導 工芸家 瀧川千春 氏

参加費 無料

(材料等、美術館で準備いたします)

対象 小学校四・五・六年生、中学生

なるべく連日参加できる方

定員 二十名

事前にお申し込みください。

定員になり次第締め切らせていただきます。

ただきます。

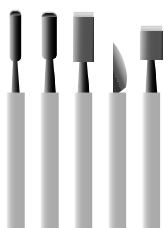
地元作家と直に接しながら、イスやミニテーブルなどを作り、彫刻したり色を塗ったりします。出来た作品はお持ち帰りいただけます。

お申し込み・お問い合わせは

石川県七尾美術館

夏の子どもワークショップ係

☎〇七六七(五三)一五〇〇





# 秋の展覧会予定



第1・2・3展示室

## 「2002 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

9月28日(土)～10月27日(日)

会期中無休

本展は、イタリアのボローニャ市で毎年開催される、世界的な絵本原画の公募展です。審査は各国の専門家たちによって行われ、様々な国や地域から色々な個性溢れる作品が選ばれ、毎年私たちを楽しませてくれます。

今年は、ノンフィクション部門より日本人12人を含む93作家の467点を、そして昨年好評を得たフィクション部門より、日本人6人を含む13作家の62点も紹介します。

さらに、特別展示として2001年のブラティスラヴァ世界絵本原画展(BIB)でグランプリを受賞した、エリック・パトゥー氏の作品36点も紹介します。

会期中、「子どもワークショップ」や「子ども映画上映会」も開催しますので、是非この機会に世界の絵本原画をお楽しみください。



「chissà com'è il coccodrillo...」  
EVA MONTANARI

第1・2展示室

## 「能登ゆかりの作品展 8」 ～能登の仏画～ ～表現された能登の風景～

11月9日(土)～12月22日(日)

能登地方に関する様々な美術に関する展示を行う恒例のシリーズ「能登ゆかりの作品展」開催も今回で8回目となりました。今回は「能登の仏画」「表現された能登の風景」の2テーマを予定しています。「能登の仏画」では能登地区の寺院等に伝わる仏画作品を紹介予定です。また、「表現された能登の風景」では能登の風景を描いた各作品を当館所蔵品・寄託品より紹介します。



「古寺仲秋」(部分) 水道秋聖

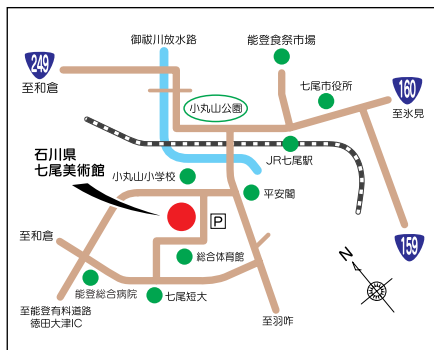
美術館提供 ラジオ番組「等伯の道」のお知らせ

平成14年4月、ラジオななおの番組「七尾もしもし探検隊」に長谷川等伯コーナー「等伯の道」が誕生しました。エピソードをふんだんに交えながら等伯の人となり、古里の人々の心を引きつけてやまない魅力を紹介していきます。七尾と等伯、等伯の人生、作品、謎をはじめ等伯に関する秘話を交えた約10分間の番組です。

期 間：平成14年4月～平成15年3月

放送時間：毎週木曜日 昼12:30頃

詳しくは ラジオななお ☎(0767)53-7640まで



### 交通案内

車.....金沢より能登有料道路  
利用約1時間30分

タクシー...JR七尾駅より約5分

徒 歩...JR七尾駅より約20分

市内循環バス...JR七尾駅より西回りに  
(まりん号) 乗車約6分

### 休館日のお知らせ

(7月～9月)

7月 1～5、8、15、22、29

8月 5、12、19～23

9月 24～27

次号・第31号(秋号)は10月1日発行予定です。